令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
看　護	人体の構造と機能	1	３－１

１．学習の到達目標

・心の働きと健康、生活と健康、社会保障制度と福祉に関する基礎的な知識を習得し、人間を身体的のみならず、精神的および社会的に統合存在として理解することにより、看護の対象者の理解を深め、社会保障制度や保健医療福祉に関する法規などに従って的確に判断し、社会資源などを活用していくために必要な基礎的能力と態度を育てる
・看護と生活の授業を通して生徒の人権意識を高めるように努める

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	⑫泌尿生殖器系 ⑬内分泌 ⑭神経系 ⑮感覚器系	・泌尿器役割を理解する ・内分泌・神経系・感覚器系の役割を理解する
	心の働きと発達 心の健康 ストレスとその対処	・心と脳の関係について理解する ・心の働きを理解し、人権意識を高められるようにする ・心の健康とはどのような状態をいうのかを考えられ、欲求と欲求不満について理解する ・ストレッサーは、どのようなものがあるのかを理解する
２学期	精神保健医療福祉活動 生活と環境と健康 人々の生活と健康	・精神的疾患並びに種々の精神的不健康の予防から精神的健康の保持向上を理解する ・生態系とは何か説明ができる ・世界保健機関憲章における健康の定義が評価されている理由を理解する
	ヘルスプロモーションと公衆衛生	・ヘルスプロモーションとは何か理解する
	社会保障と社会福祉	・医療保険制度について説明ができる ・医療・福祉に関係する法律を覚える
	社会医療福祉制度 保健医療福祉関係法規	・医療の資格職と福祉の資格職における業務のかさなりについて理解する
	人体の構造復習	・人体の区分と名称・位置や体位などの説明できる
３学期	看護医学用語の読み方と意味	・専門用語を理解する

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査、提出物、授業態度等による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	看護を行うために、人体の構造と機能を学び、必要な心の働きと健康、生活と健康、社会保障制度と福祉に関する基本的な知識を習得している	看護業務に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫できるようにする	看護に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている

４．使用教科書・副教材

使用教科書	生活と看護　（文部科学省）
副　教　材	看護医学用語の読み方と意味（医学芸術社）　解剖生理ワークブック（照林社）